

住民の「安全・安心」と米軍基地は、共存できません！

宇川のみなさんへ

2018.3.8

宇川地域にある米軍経ヶ岬通信所(Xバンドレーダー基地)の運用が開始されて3年が経過しました。隣接する航空自衛隊経ヶ岬分屯基地の拡張工事もほぼ完成し、その強化拡大された姿は見る人を威圧しています。

米軍基地の二期工事が始まろうとしています。二期工事は基地を拡大・固定化するものです。

穴文殊を取り囲む米軍基地と自衛隊基地は、3年前には考えられなかった大きさになったばかりでなく、戦争法が施行されて以降は、実質的には一体のものとして機能していこうとしています。

東アジアは一触即発の戦争の危機の中にあります

アメリカのトランプ政権は、朝鮮民主主義人民共和国(以下、朝鮮)に対する先制攻撃を否定せず、大規模な米韓合同軍事演習や日米合同軍事演習を繰り返してきました。これに対抗して朝鮮は核・弾道ミサイル開発を推し進め、東アジアの軍事的緊張が激しさを増してきました。

日本の安倍政権もまた「北朝鮮の脅威」を煽り立て、東アジア情勢の緊迫を理由として集団的自衛権にもとづく海外派兵や憲法改悪に利用してきました。2018年度予算で防衛費は5兆2000億円に達し、敵基地攻撃能力を確保するための長距離巡航ミサイルや空母の導入も検討されています。これらは、政府が従来言ってきた「専守防衛」を大きく逸脱するものです。

私たちはどちらを選ぶのか？！ 平和か 戦争か



▲平昌オリンピック開会式での南北選手団の入場



▲昨年の日米合同軍事演習

いま東アジアの情勢は大きく変わろうとしています。朝鮮の平昌オリンピックへの参加表明、1月の南北高位級会談からオリンピックを経て、3月韓国から特使団の派遣、4月末には南北首脳会談が開催されそうな運びとなっています。

左の写真は、平昌オリンピックでの朝鮮半島をかたどったコリア旗を掲げながら入場行進をする南北選手団の様子です。選手たちの笑顔は単にオリンピックに参加した喜びだけではないと思います。

朝鮮敵視政策が浸透した日本では、政府をはじめマスコミがこぞって、「オリンピックの政治利用だ」、応援団などの「ほほえみ外交にだまされるな」、「北朝鮮への圧力を強化しろ」など、冷ややかな発言や報道が多く見られました。

右の写真は、昨年行われた日米合同軍事演習で米空母と日本のイージス艦が並走しています。昨年は米韓合同軍事演習が何度も実施されましたが、そのたび毎に日米合同軍事演習が行われています。また、米韓合同軍事演習に参加する米軍は沖縄、佐世保、岩国、神奈川、三沢などの在日米軍基地から多数参加しています。

宇川にあるXバンドレーダー基地も演習に参加していると思われませんが、明らかにされていません。

安倍首相は、「圧力の強化」ばかりを叫び、南北が行っている対話の努力に水をさそうとしています。対話が進むと、朝鮮半島の緊張を利用して軍備拡張を進めようとしていることにとって都合が悪いのでしょうか？ 一旦戦争になると取り返しのつかないこととなります。

私たちは、軍事的威嚇や戦争ではなく対話の努力によって東アジアの平和を達成すべきだと考えています。

え！ 自衛隊が 米軍基地を 警護するの？！

1/24(水)～1/26(金)

福知山の陸上自衛隊が派遣され、経ヶ岬米軍基地の警護訓練を行った。

自衛隊が米軍を守る訓練で、派遣された部隊が米軍基地内に入って行われたとのこと。

自衛隊の主な行動(1) 第三部 わが国の防衛のための諸施策

資料

警護出動 [自衛隊法 第81条の2]

対象となる事態：

自衛隊の施設又は在日米軍施設・区域において、大規模なテロ攻撃が行われるおそれがあり、かつ、その被害を防止するため特別の必要があると認める場合

行動の要件など：

- ① 命令権者：内閣総理大臣
- ② 国会の承認：不要
- ③ その他：あらかじめ関係都道府県知事の意見を聴き、防衛大臣と国家公安委員会とが協議する

認められる主な権限など：

- ・ 警職法の一部準用(質問、避難などの措置、立入(以上は警察官がその場にはいない場合のみ)、武器使用)
- ・ 警護する施設の大規模破壊を防ぐための武器使用

2018年3月8日

京丹後市長 三崎政直様

米軍Xバンドレーダー基地問題に関する申し入れ書

貴職におかれましては、市民の生活を守り、その安全安心を実現するために日々奮闘されておられることに敬意を表するものです。

東アジアでは、米国と朝鮮民主主義人民共和国（以下、朝鮮）の軍事的緊張が高まり、戦争の危機が引き続いてきました。しかし、平昌オリンピックに朝鮮が参加し、韓国の文在寅大統領の訪朝と南北首脳会談を提案したこと、これに文在寅大統領が積極的に対応したことによって、南北対話の新たな流れが生まれてきました。それはまた、東アジアでの戦争を回避したいという朝鮮半島南北の民衆、東アジアの民衆の平和への願いを反映したものでありました。

しかし、米国のトランプ政権は軍事的選択肢を否定せず、平昌パラリンピック終了後、4月にもこれまで延期してきた大規模な米韓合同軍事演習（キーリゾルプ／フォールイーグル）を実施しようとしています。それは東アジアでの戦争の危機を再び高めるものです。日本の安倍政権もこれに同調し、「対話のための対話に意味はない」と声高に繰り返すばかりが、文在寅大統領に米韓合同軍事演習の予定通りの実施を迫ってきました。そして、憲法改悪・自衛隊の海外派兵を推進していこうとしています。しかし、武力で平和は作れません。米日両国による朝鮮への軍事的包囲と威嚇は、朝鮮を自衛のための核・ミサイル開発に追い込んだだけでした。現在の「オリンピック休戦」とも言うべき状況を東アジアの平和への転換点としていくための努力こそが求められているのです。

住民の安全・安心を守るべき京丹後市がいまなすべきことは、第一に東アジアでの戦争に反対し、武力によってではなく対話によって事態を解決すべきことを安倍政権に要求することです。東アジアで戦争になれば、京丹後の米軍基地は真っ先に標的になり、ぼう大な死傷者が生まれます。京丹後市として、東アジアでの戦争に反対し、対話による平和を求める態度を表明してください。

第二には、京丹後の住民の命を脅かし、東アジアの軍事的緊張を高める一因となってきた米軍Xバンドレーダー基地を撤去することです。この米軍基地があるために、京丹後は東アジアでの軍事的緊張の最前線におしだされ、住民の命と安全が脅かされてきています。そればかりではありません。Xバンドレーダー基地は、アメリカのミサイル防衛（MD）戦略の拠点のひとつであり、この基地の存在そのものが東アジアの軍事的緊張を高めてきました。この基地の存在によって、私たちは朝鮮に対する軍事的包囲と威嚇に加担させられてきたのです。私たちは戦争の犠牲者になることも加害者になることも拒否します。東アジアの平和を実現し、京丹後の住民の命を守るためにXバンドレーダー基地の撤去をあらためて要求します。

第三に、米軍基地建設を憂う宇川有志の会や私たち京都連絡会は、住民の安全・安心を守るために、陳情や申し入れをこれまでから行ってきました。しかし、京丹後市の対応はまったく不十分なものとどまっています。あらためて以下の諸事項の実施を要求します。

白井美喜子

- (1) 沖縄をはじめ日本各地で、米軍ヘリの墜落事故や物品の落下事故が頻発しています。その原因を究明し、事故を防止するために努力することは当然です。そして、京丹後においても学校をはじめとした住宅地の上空の米軍機・自衛隊機の飛行を禁止するように防衛省に要求すること。
- (2) 米軍基地建設の二期工事について、すみやかに着工日を明らかにし、すべての住民に開かれた住民説明会を開催するように防衛省に要求すること。
Xバンドレーダーは、そもそも車載式の移動・撤去可能なものと説明されてきました。しかし、米軍基地は強化され続け、二期工事によって基地はさらに固定化・完成化されようとしています。私たちは基地を固定化する二期工事に反対します。
- (3) 当初の約束に反した軍属(主にレイセオン社)の個人居住・個人通勤が改善されていません。集団居住・集団通勤という約束に基づいて事態を改善すること。
- (4) 米軍基地の東側の三角地まで基地を拡張する計画がすすめられています。基地を拡張しないという当初の約束に反するものであり、不必要な拡張計画なので撤回すること。
- (5) 「安全・安心連絡協議会」の公開など、地元住民と米軍・防衛省が直接対話できるシステムを拡充すること。

以上

米軍 X バンドレーダー基地反対・京都連絡会

共同代表 大漣宗則 白井美喜子 上岡修 瀧川順朗 仲尾宏
連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大漣 宗則方
TEL&FAX 075-467-4437
事務局連絡先 090-1590-9469(山本純)

諸機関への申し入れの経緯

- ☆ 2017.10.18 近畿中部防衛局への申し入れ
- ☆ 2017.12.11 京丹後市への申し入れ
- ☆ 2018.02.06 京都府への申し入れ

発行 : 米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会
連絡先 : 〒602-3847 京都市上京区四番町121-5 大漣宗則方
TEL&FAX : 075-467-4437

東アジアの平和を 労働者・市民の闘いで 実現しよう

■「対話」の機運を強化しよう。

平昌冬期オリンピックへの朝鮮民主主義人民共和国の参加からはじまった緊張緩和にむけた対話の流れは、韓国代表団の訪朝によって4月末の南北首脳会談が決定され、その後、5月の米朝首脳会談開催が決定されるなど大きなものとなりました。「開戦直前」と言われ核戦争の危機の可能性に直面している朝鮮半島危機の平和的解決にとって、大きな前進です。中国もロシアも「朝鮮半島の核

問題は解決に向けて正しい方向にすすんでいる」との評価をおこなっています。「対話」が直ちに平和の実現となるとは考えられません。しかし中国やロシアが評価するように「開戦直前」とまで言われていた米朝関係の「平和的解決」にむけて、大きく流れをかえる第一歩であることには変わりありません。

■改憲と戦争国家化のために

朝鮮半島危機を利用する安倍政権を許すな

安倍首相は参加を明言しなかった平昌オリンピック開会式への参加を、直前になって決定し、文在寅韓国大統領に「(朝鮮民主主義人民共和国の)微笑み外交に惑わされてはならない」「最大限の圧力が必要」「米韓合同軍事演習の実施」などと迫り、「対話」の動きに対してことごとく敵対してきました。しかし中国、ロシア、をはじめ世界のほとんどの国が、「米朝首脳会談」をはじめとする「対話」の動きを評価し、日本の「孤立化」が鮮明となるなかで、渋々ながら「評価する」と表明せざるをえませんでした。

改憲と戦争国家化を自らの至上命題とする安倍政権にとって朝鮮半島危機の継続は、必要不可欠で

す。核戦争になる可能性があり、そうなれば自国民だけでも数十万人から数百万人の死傷者が発生するかも知れない事態にもかかわらず、「圧力と制裁」をくり返し主張し、戦争の危機をあおってきました。安倍首相は改憲と戦争国家化のためには数十万人、数百万人の犠牲が出て良いと考えているのでしょうか。あるいは、口先とはまったく裏腹に、「戦争など起こりえない」と信じ込んでいるのでしょうか。改憲と戦争国家化のために、朝鮮半島危機を利用する安倍首相。戦争になれば核戦争となり数十万人、数百万人が犠牲になる可能性については何の言及もしない安倍首相の無責任を許すことはできません。

전쟁 반대! 한반도에 핵 없는 평화를 실현하자!
No War on Korean Peninsula and in East Asia
Attain Peace without Nuke Weapons

■ 韓国の労働者、市民と連帯し

米韓合同軍事演習に反対しよう。

「南北首脳会談」、「米朝首脳会談」は、朝鮮半島における戦争の危機の回避に向け大きな意味があります。しかしトランプ大統領が「何が起こるかなんて誰も分からない。私はすぐに立ち去るかもしれないし、そのまま席に座って世界にとって最高のディール（取引）を成し遂げるかもしれない」と述べているように、どうなるかは会談が開催されないとわかりません。

米韓合同軍事演習にしてもオリンピック、パラリンピックを挟んで延期されているだけで、アメリカが中止を表明しているわけではありません。

この米韓合同軍事演習は金委員長の抹殺を狙う「斬首作戦」を含む、朝鮮民主主義人民共和国への軍事攻撃に向けた演習です。また日米安保によ

り、岩国や沖縄などの在日米軍基地がフル稼働し、実質的には自衛隊も参加する大規模な日米韓の軍事演習にほかなりません。現時点では、日米韓による朝鮮民主主義人民共和国に対する「軍事的挑発」以外の何物でもありません。

金委員長が「対話が継続している間は核実験やミサイル発射などはおこなわない」と発言しているのですから、米韓合同軍事演習も中止し、少しでも対話にむけた平和的な環境を作り出していく必要があります。

韓国でも多くの労働者、民衆が米韓合同軍事演習に反対しています。日本の労働者、民衆もこれらの人々と連帯し、米韓合同軍事演習に反対していく必要があります。

■ 東アジアから米軍と米軍基地を撤収させ、

全ての国の核兵器を廃棄させよう

金委員長は「朝鮮半島に対する非核化に対する意思を明確にし、朝鮮に対する軍事的な脅威が解消され体制の安全が保障されるのであれば核を保有する理由がない」と述べています。

これには“休戦状態”にある朝鮮戦争を終結させるために平和協定を締結することが焦点となります。しかし本質的な解決は、東アジアから米軍と米軍基地を撤収させること、中国、ロシアも含めた核兵器を廃絶させることです。アメリカや中

国、ロシアは朝鮮民主主義人民共和国の「核武装」は問題視しても自らの「核保有」については問題にすらしていません。これらの諸国による核独占体制を辞めさせ、核兵器を廃絶させなければ、真の平和は実現されません。不毛な「圧力と制裁」を辞めさせ、日本、韓国を中心にした東アジアの労働者、民衆の「東アジアから米軍と米軍基地を撤収させ、全ての国の核兵器を廃棄する」運動の前進が、真の平和の実現のために必要です。



ユネスコの「世界の記憶」に朝鮮通信使が登録されました。長年にわたる日韓研究者の共同の努力で実現したものです。200年以上にわたって継続された先人たちの平和外交の知恵を、今こそ引き継いで、東アジアの平和を実現していくことが必要です。民衆の平和的・文化的な交流が未来につながるよう努力しよう。

ユニオンネットワーク・京都

〒601-8015 京都市南区東九条上御霊町64-1
アンビシャス梅垣ビル1階 TEL075-691-6191

AWC 山口活動報告 (2017年4月～2018年3月)

AWC山口定例会議：毎月第3木曜日

AWC九州山口事務局会議：月1回

AWC九州山口集会：6月25日(日)

AWC夏合宿 in 岩国：8月20日(日)～21日(月)

AWC国際集会・ミニ集会：11月25日(土)～26日(日)(市内ビラまき10月～集会)

・11ウォーク：毎月11日・山口商店街：戦争反対、反核反原発のデモ行進

・朝鮮学校支援：水曜日の県庁前座り込み行動やビラまきへ参加

・岩国見守る集い参加：毎月1日、11日、21日

・86・96実行委員会：8/6広島青空式典(日韓同時行動)、写真展・9/6山口のヒロシマデー、祝島&長島フィールド、3月反原発集会への取組

・総がかり行動(山口市民会館前)：毎月19日頃

その他の取組み事項

●5月3日(水)2017憲法を守る山口集会参加(参加総数210名) @市民会館

主催：憲法を守る山口集会実行委員会、憲法を活かす市民の会・やまぐち

2つの団体が初めて共闘して開催。総がかりやまぐちも参加。

●5月9日(火)被爆二世集団訴訟開始 第一回口頭弁論 @広島地裁

●5月13日(土)～16日(火)沖縄平和行進参加

●5月21日(日)岩国での緊急集会「朝鮮半島情勢と米軍岩国基地」。講師は、東京新聞の半田さん。No!「基地との共存」市民行動実行委員会主催として、岩国5団体共闘での取り組み。@岩国福祉会館

●5月27日(土)～28日(日)辺野古土砂搬出反対全国連絡会議(出席者300人)

●6月4日(日)総がかり行動やまぐち県民大集会(出席者700人) @山口市民会館

●6月17日(土)被爆二世の会総会兼学習会(被爆二世の会の集団訴訟等について説明)
@パルトピア山口

●6月18日(日)連帯労組やまぐち 最低賃金を上げるための署名活動 @商店街

●6月20日(火)～21日(水)ホ・ヨング先生と韓国ゲスト、牛野谷南自治会集会所にて地元との交流・基地見学

●6月23日(金) 岩国市長移駐表明抗議行動。市役所前に60名くらいが集まる。

●6月28日(水)山口労働局との交渉(被曝労働や外国人労働者問題など)

●7月17日(月)～20日(木)「山口のこえ」辺野古土砂搬入抗議行動と交流会

●7月30日(日)上関ネイチャープロジェクト設立記念講演 @県立図書館レクチャールーム

●8月1日(火)最低賃金審議会(当事者意見陳述で参画)

●8月7日(月)韓国ゲストの訪岩 原発阻止で一致

- 8月15日(火) 靖国参拝反対座り込み(山口市民館前の取組)
- 8月16日(水) 安保法制違憲訴訟 傍聴席満席(48席)。岩国の稲生氏大川氏証言。
@山口地裁
- 8月22日(火) 被爆二世集団訴訟 @広島地裁
- 8月26日(土)～29日(火) 原爆展 @さぼらんて
- 9月4日(月) 被爆二世の会らとともに朝鮮民主主義人民共和国の核実験に対し抗議文送付。併せて日本政府と米国政府にも敵視政策を止めるよう要請文送付
- 10月15日(日) 核兵器禁止国際署名 @商店街
- 10月19日(木) 山口県知事へ申入：高江米軍ヘリ墜落(同型機飛行停止要請)
- 10月24日(火) 「辺野古に土砂を送らせない！」山口のこえ、奥間さんの講演会
@ふれあいセンター
- 10月26日(木) 被爆二世集団訴訟 @広島地裁
- 11月3日(金) 市民会館前改憲阻止アピール
- 11月3日(金)～5日(日) 原爆展(大歳駅開催) アニメや絵本も展示。子連れ来場
- 11月23日(木) 連帯労組・やまぐち、定期大会 @パルトビア山口
- 11月27日(月)～28日(火) 岩国国際集會に來たAWC関西や若狭で反原発運動をしている人たちを祝島に案内した。
- 1月7日(日) 連帯労組・やまぐち 旗開き
- 1月14日(日) 上関まるごと博物館オープニングセレモニー 100名参加
@上関町総合文化センター 1Fホール
- 同日 「市民連合@やまぐち」発足講演集會 講師は中野晃一氏(上智大学教授) 250名参加 @労福協會館
- 1月21日(日) 99%の民意をいかす県民大集會 @山口市民會館
- 2月6日(火) 米国の核戦略見直しと、日本政府の評価に対し抗議文を被爆二世の会らとともに郵送
- 2月11日(日) 全国二世協の總會 @広島・東方2001
- 2月11日(日) 思想と信教の自由を守る山口県民集會 講師：京大の高山氏。150名参加 @教育會館
- 2月13日(火) 被爆二世集団訴訟 @広島地裁
- 2月14日～15日(水、木) (朝鮮学校への)補助金復活を求める全国連絡會議@山口市内14日、下関市内15日
- 2月25日(日) 反原発前段集會 @労福協會館
- 3月7日(水) 公有水面埋立訴訟、自然の権利訴訟 @山口地裁
- 3月14日(水) 安保法制違憲訴訟。@山口地裁
- 3月17日(土) 福岡山口自治体議員との懇談會(土砂搬出地の議員) @下関市
- 3月24日(土) 上関原発を建てさせない山口県民大集會 @維新百年記念公園野外音楽堂